

令和2年10月13日付【建設工業新聞】

＜働き方改革の取り組み紹介＞

建コン協らセミナー

働き方改革の 取り組み紹介

建コン協らセミナー

建設コンサルタンツ協会（建コン協、高野登会長）、全国上下水道コンサルタンツ協会（水コン協、村上雅亮会長）は9日、東京都千代田区の都市センターホテルで「建設コンサルタンツ働き方改革セミナー」を開いた。写真。会場参加、オンライン参加を合わせて約500人が聴講。相模女子大学の白河桃子特任教授を講師に招いて基調講演したり、建コン協の会員企業が働き方改革の取り組み状況



を紹介したりした。

冒頭、建コン協総務部会の永治泰司部会長は「新型コロナウイルスの感染拡大で多くの会員企業が在宅勤務に踏み切った。しかし、在宅勤務では生産性が低下したというアンケート結果もあり、課題も浮き彫りとなった。セミナーでは各社が取り組む在宅勤務の工夫などを発表してもらおう。各自の参考としてもらいたい」と呼び掛けた。

白河氏は「働き方改革の成功事例」と題した基調講演で「本来のテレワークは働く場所を自由に選択できる働き方。コロナ禍での在宅勤務は、テレワークの本質ではない」と指摘。「在宅勤務で生産性が低下したとしても、テレワークが評価できない働き方ということにはならない」と訴えた。

続いて事例紹介では▽建設技術研究所▽オリエンタルコンサルタンツ▽日本工営▽パシフィックコンサルタンツ▽長大▽NJSーの6社が各社の取り組みを発表した。